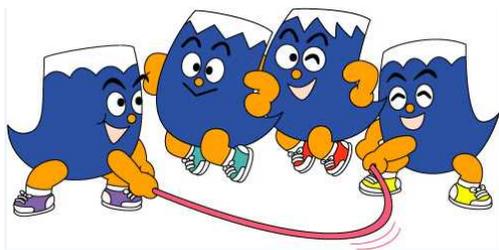


# 静岡県の地震・津波対策

防災×テクノロジープラットフォーム  
第8回マッチングセミナー

みんなで防災！ 未来へつなぐ静岡の力



防災ベテラン家族  
「わたひな家」

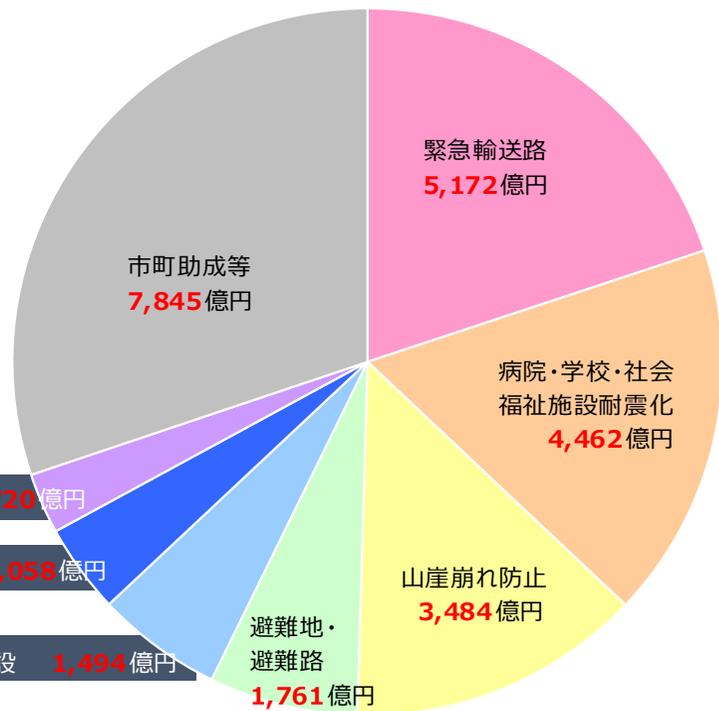


# みんなで防災！ 未来へつなぐ静岡の力

静岡県は、1976年8月に発表された東海地震説以降、ハードとソフトの両面から、様々な地震・津波対策を実施してきました。

## ◆ これまでの実績 昭和54年度～令和4年度

# 2兆5,996億円



震災総合訓練への  
県民の参加率

**10.4%**

**全国2位**

**(全国平均1.3%)**

令和3年度末

木造住宅耐震  
補強工事への助成

累計**25,818戸**

**全国1位**

令和4年度末

防災拠点となる  
公共施設の耐震化率

**98.7%**

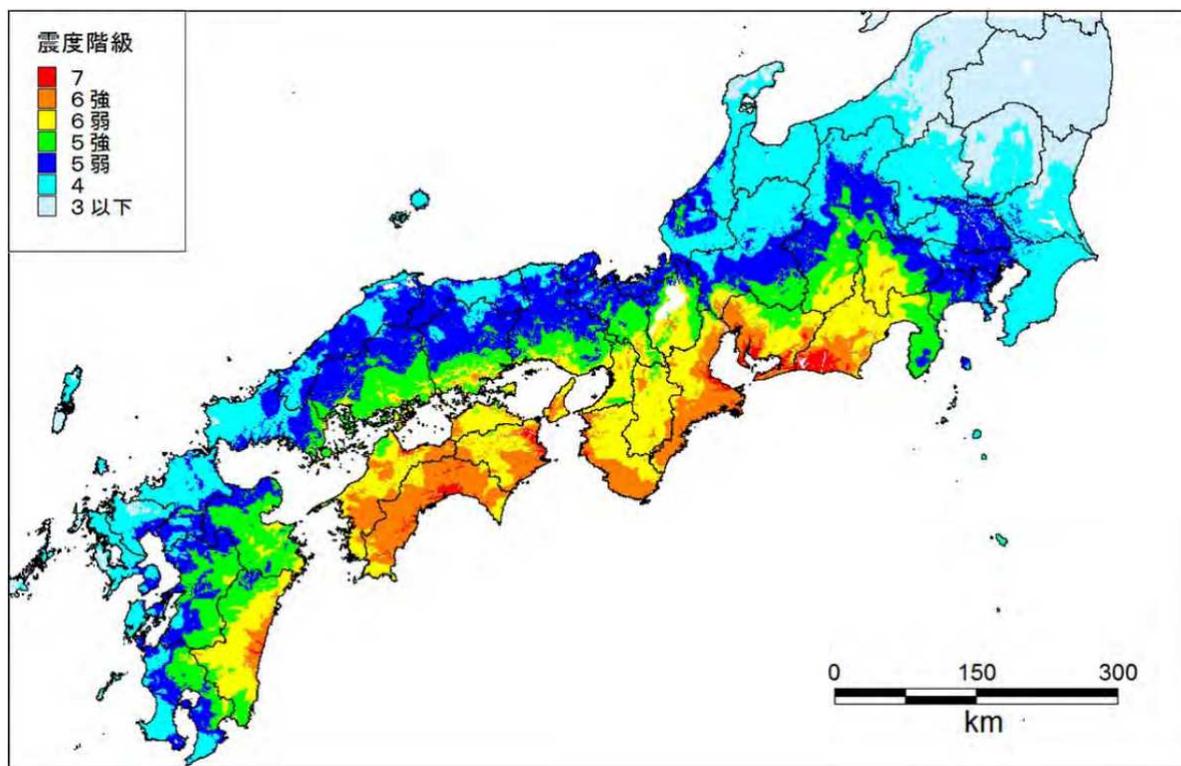
**全国2位**

**(全国平均95.6%)**

令和3年度

# 南海トラフ巨大地震の被害想定について（国の想定）

南海トラフ巨大地震の犠牲者のうち 約 1/3 が本県の犠牲者。



- ・ 人的被害：全国 323,000人  
（うち本県 109,000人 (34%)）
- ・ 経済被害：全国 96.8兆円  
（うち本県 21.4兆円 (22%)）

内閣府（2012、2013）

（参考）東日本大震災

- ・ 人的被害 約22,000人
- ・ 経済被害16.9兆円

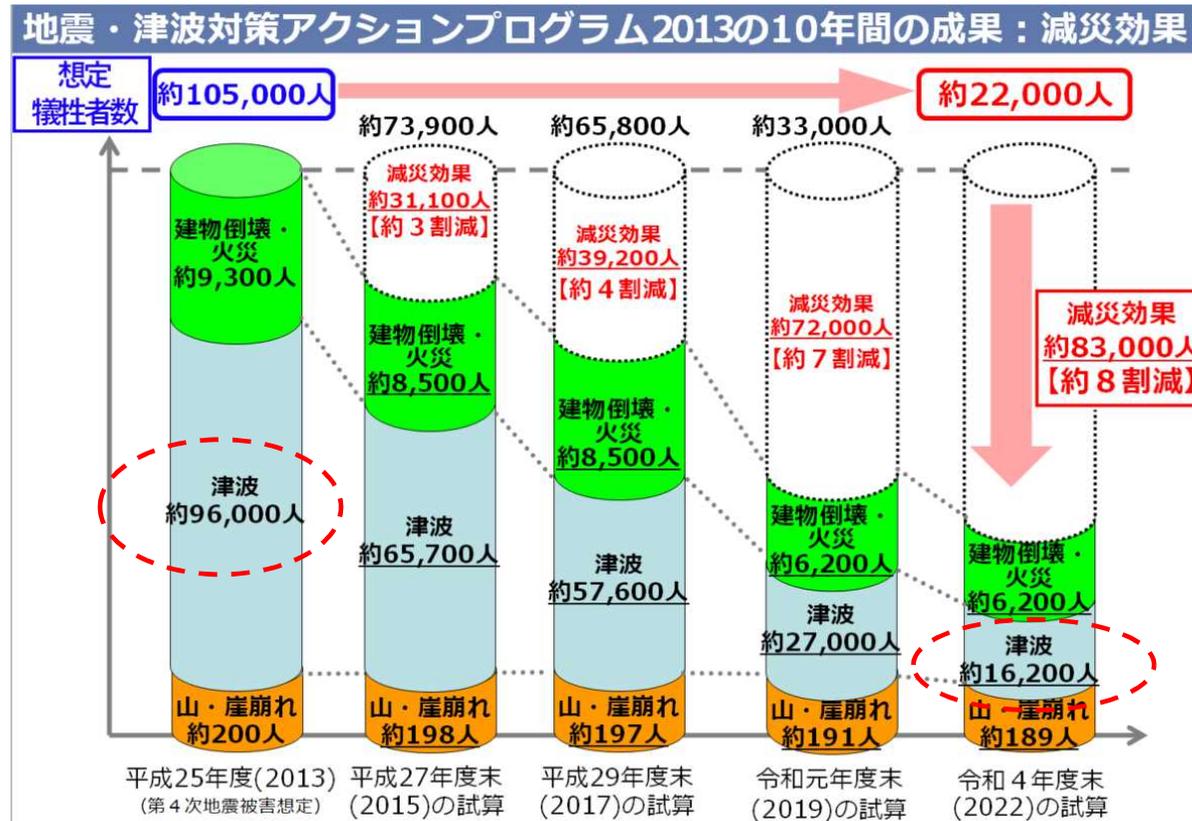


# これまでの地震・津波対策の成果

静岡県第4次地震被害想定（2013年策定）

➡ 「地震・津波対策アクションプログラム2013」 目標：想定犠牲者の8割減少

R4年度末時点で達成（瞬間風速）



# これからの取り組み（静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023）

今年度から、新たなアクションプログラムに基づく取り組みを始めています。

計画期間：2023年～2032年（**10年計画**）

**139のアクション**

基本理念（10年後の目指す姿）

犠牲者の最小化・減災効果の持続化とともに、  
被災後も命と健康を守り、健全に生活できる社会を実現

## 減災目標

令和4年度

犠牲者の  
8割減少



令和7年度

犠牲者の  
**9割減少**



令和14年度

**9割減少  
以上の水準を維持**



**被災後の生活の質的向上による健康被害等の最小化**

# 静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023の重点施策

## 1. 自 助

- 早期避難意識の向上と持続
- 家庭内棟の飲料水・食料の備蓄の徹底

## 2. 共 助

- 要配慮者の支援体制の確保
- 自主防災組織の活性化

## 3. 公 助

- 避難時・被災後の生活の質の確保
- ハード整備の着実な推進



早期避難意識の向上



避難所の環境改善・自主防災組織の活性化



ハード整備の着実な推進（静岡モデル防潮堤）

# 早期避難意識の向上

- 想定犠牲者 9 割減少を達成するには  
ハード対策だけでは無理！

( 早期避難意識の向上が不可欠！ )

- R 3 年度～

「わたしの避難計画」の全戸配布を進めています。

自分で  
手を動かすことで  
ちゃんと理解できる。  
覚えておける。

## 「わたしの避難計画」

冷蔵庫や玄関など  
目につく場所に  
貼っておこう！

### 大雨の時

河川氾濫 土砂災害

- 避難のタイミング  
「高齢者等避難」が発表されたら
- 避難先  
自宅の2階へ行く
- 情報収集手段 ( ● を塗りつぶす )
  - 牧之原市LINE
  - まきのはらTeaメール
  - 静岡県防災アプリ
  - その他

### 巨大地震の時

自宅に津波が来る地域

- 避難のタイミング  
強い揺れが収まったら **すぐに**  
または  
強い揺れを感じなくても  
「津波注意報」や「津波警報」  
「大津波警報」が発令されたら
- 避難先  
地震発生から  
**10** 分以内に  
**津波避難タワー** に到着する

自宅に津波が来ない地域

- 避難のタイミング  
強い揺れが収まったら
- 避難先(集合場所)  
※ 町内会で決められている場所

その後  
に判断

- 自宅が危険な場合は  
指定避難所へ
- 自宅にいても安全な場合は  
自宅で待機

# 早期避難意識の向上

誰でも簡単に作れる「わたしの避難計画」を目指し、

モデル市町と一緒に、1年をかけて、地域のみなさんから直接、率直な御意見をもらいました。



**住民ワークショップ**  
8地区×各2回  
参加者 延べ 約370人



# 早期避難意識の向上

- 住民の意見を反映して「わたしの避難計画」のフレームを作りました。
- ・ その地区のハザードマップを切り出し、**各地区専用の「作成ガイド」**を用意
- ・ 「作成ガイド」のボリュームはA3裏表 **1枚のみ**

- ・ 作成ガイドを見れば、**自宅周辺のリスク**を「理解できる！」
- ・ 手順に沿って1つ1つ確認していくだけで、**正しい避難行動**の「答えが分かる！」

大雨の時 (河川氾濫・土砂災害) 2ページ

手順⑧ 大雨の時、自宅はどうなる？

① マップで「自宅の位置」にしるしをつけよう → ② 自宅に災害の危険があるか確認しよう！

河川氾濫の危険について

- 浸水想定区域
- 浸水深 5.0m~10.0m
- 浸水深 3.0m~5.0m
- 浸水深 1.0m~3.0m
- 浸水深 0.5m~1.0m
- 浸水深 0.3m~0.5m
- 浸水深 0.3m未満
- 浸水のおそれなし

家屋倒壊のおそれのある区域

- 高層建築物等
- 記念館
- 河川(浸食)

土砂災害危険箇所

- 特別警戒区域
- 警戒区域

3ページ

手順⑨ 「避難先」、「避難のタイミング」、「情報収集手段」は？

① 下の図の矢印をたどっていき、「避難先」と「避難のタイミング」を明らかにしよう！

→ 別紙「わたしの避難計画」に書こう！

「土砂災害」の危険がある場所(土砂災害(特別)警戒区域)にお住まいですか？

- はい → 川の氾濫した場合「家屋倒壊のおそれのある区域」にお住まいですか？
  - はい → 避難先 自宅の安全な部屋
  - いいえ → 「川が氾濫した場合、自宅は浸水しますか？」
    - はい → 避難先 自宅の浸水しない安全な部屋
    - いいえ → 避難に時間がかかる人はいますか？(高齢者が多くが遠い人など)
      - はい → 安全な場所に住んでいる「親戚や知人」はいますか？
        - はい → 避難先 〇〇さんの家
        - いいえ → 避難先 〇〇さん・ほか
      - いいえ → 安全な場所に住んでいる「親戚や知人」はいますか？
        - はい → 避難先 〇〇さん・ほか
        - いいえ → 避難先 〇〇さん・ほか

② 「情報収集手段」を決めよう！

市内の高齢者等避難や避難先の情報

県内の防災情報

- 秋之原市 LINE
- まきはら Teoメール
- 静岡県 防災アプリ
- テレビ ラジオ

巨大地震・津波が発生したら... 4ページ

手順⑩ 大地震や津波が発生した時、自宅はどうなる？

地震... 巨大地震の時には「震度6弱」以上の揺れが来ます。

津波... ① マップの「自宅の位置」にしるしをつけよう  
② 津波が「来るのか」、「来ないのか？」揺れてから「どのくらいの時間で」津波が来るのか？を確認しよう！

<津波浸水想定区域> 秋之原市津波ハザードマップから

<津波到達時間> 津波到達時間 南海トラフ巨大地震ケース1

- 30分以上
- 25分以上30分未満
- 20分以上25分未満
- 15分以上20分未満
- 10分以上15分未満
- 5分以上10分未満
- 5分未満

手順⑪ 「どこに」、「いつまでに」避難すればいい？

津波が来る場合 「津波到達時間」までに、たどり着くことができる「避難先」に避難します。「到達時間」と「避難先」を、別紙「わたしの避難計画」に書こう！

津波が来ない場合 町内で決められている「避難先(集合場所)」に一旦集合します。「避難先(集合場所)」を、別紙「わたしの避難計画」に書こう！

※避難先が分からない場合は、秋之原市HP「指定緊急避難場所(指定地域)」を確認しよう！

## (今後の展開)

## 早期避難意識の向上

○ R7年度までに、32/35市町で、約150万冊（≒全世帯）を配布します。

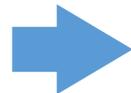
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計 (見込み)
対象エリア	モデル市町	沿岸エリア	内陸エリア	内陸エリア	内陸エリア	全エリア
配布数	34 地区	1,319 地区	721 地区	1,329 地区	1,758 地区	5,161 地区
	6 千冊	2 6 万冊	2 2 万冊	40万冊	53万冊	141 万冊
全戸配布完了	0 市町	7 市町	9 市町	2 市町	14 市町	32 市町



まだ届いていない人は  
もう少し待っててね！

(参考：早期避難意識向上の実績)

R元年度末：68% (全県調査)



R4年度末：81% (沿岸エリアで調査)

※瞬間風速

# (今後の展開) 早期避難意識の向上

- 子どもから、家庭へ・・・ 「わたしの避難計画」を授業で活用したい



(例えば・・・)

避難計画を作った後に、

**3D都市モデル**の中を

**ゲーム感覚**で

避難路が浸水するまでに

避難可能か試してみる

ような授業



民間の技術・アイデアを募集しています！

興味のある市町はご連絡ください！

# 地震・津波対策等減災交付金（県単補助制度）

- 地震・津波対策アクションプログラムの減災目標達成のため、**市町の取り組み**を財政支援（地震防災・減災対策の幅広い分野を網羅した、70以上の支援メニューを用意）



津波避難タワーの整備



避難所の環境改善



防災倉庫や資機材などの整備  
（自主防災組織のものを含む）



避難所運営訓練

R5年度予算額  
25億円

市町がデジタル技術を導入する際 ➡ 交付率1/2の支援が可能です！

※国交付金か県交付金のどちらかを選択

市町が避難タワーの生活機能を向上する際 ➡ 交付率1/2の支援が可能です！

# (今後の展開) 地震・津波対策等減災交付金（県単補助制度）

- 市町が実施する津波避難タワーの滞在性機能の向上に対する支援を行います。

（R5年度中に、市町向け手引き書（事例集）を作成予定）



- **屋根 / 壁**
- トイレ
- 通信手段  
の機能を、  
**既存の  
タワー・命山に  
後付けしたい**



※ 建築基準法等の法規制に抵触しない方法で！

民間の技術・アイデアを募集しています！

興味のある市町はご連絡ください！

ご清聴

ありがとうございました



防災ベテラン家族

「わたひな家」